

保護者や地域の願い

- 学校の安全・安心を確保
- 学力・体力の向上
- 地域への愛着と誇りの涵養
- 地域を生かす教育活動の推進
- 創立150周年の計画的な準備

学校の教育目標

「がまん強い子」「考える子」「思いやりのある子」「健康な子」

重点目標（目指す子供像や育成を目指す資質・能力）

自ら学び、主体的に判断し、よりよく行動できる資質・能力を育成し、これからの社会を子供一人一人が夢と希望をもって、他者と協働しながらたくましく生き抜いていく力を育成する。

【目指す子供像】

- 確かな学力を身に付け、すすんで探究し、自ら考えを表現できる子供
- 互いの人格を尊重し、きまりを守り、思いやりの心をもてる子供
- すすんで運動に親しみ、自分の健康を考えられる子供
- 地域を愛し、誇りに思い、将来地域の発展に貢献できる子供

子供の実態

- 楽しく学校に通っている。
- 意欲的に学習しており成果が出ている。
- すすんであいさつができることにより。
- 非認知能力を向上させたい。

学校経営の基本方針

- ◎新しい時代に対応したこれからの社会(Society5.0)を生き抜く力の育成
- ◎新たな価値を創造できる“人財”の養成
- ◎多様な学習機会と学びの環境の充実(個別最適な学びと協働的な学びの推進)

個別最適な学びと協働的な学び

リアルとデジタルの効果的な活用

自動性と協働性による学校運営

フレキシブルな教育の実現

地域を「最高の学びのキャンパス」に。

- 上野動物園、不忍池、東京藝術大学(旧東京音楽学校奏楽堂)、国立西洋美術館、旧岩崎邸庭園等の文化施設を積極的に活用した学習や体験活動の充実
- 箏、茶道、落語等の伝統・文化について「触れる→理解する→誇りをもつ」教育活動を推進

学力及び体力の向上

- ◆基礎的な知識・技能の習得と活用する力の育成
- ◆1人1台端末の効果的な活用
- ◆「論理的に思考する力」「話す力」の育成
- ◆健康な体の育成と体力の向上
- ◆伝統文化教育と国際理解教育の推進

豊かな心の涵養

- ◆教育活動全体を通じた人権教育の推進と道徳教育の充実
- ◆挨拶を始めとした基本的な生活習慣の確立
- ◆異学年やこども園交流の充実
- ◆環境教育・キャリア教育(起業家教育)・安全教育の推進

一人一人に向き合う教育の推進

- ◆支援を要する児童への迅速・的確な組織的な支援(S、Cや特別支援教室との連携)
- ◆外部人材の活用(学力向上推進T、特別支援教育支援員、EDA等の活用)
- ◆関係諸機関との連携

地域や外部機関との連携

- ◆地域を学びの場とした学習や体験活動の実施(上野公園等)
- ◆地域人材の効果的な活用(箏、茶道、落語等)
- ◆HPやメール配信システムによる積極的な発信

教員研修の活性化

- ◆校内研修の充実(児童が主体的、協働的に取り組む探究的な学習の実践)
- ◆教職員の学ぶ機会の推奨(OJTの充実とOFF-JTの推奨)

組織人としての意識の向上

- ◆危機管理体制の確立(いじめ、不登校、けがの防止等への組織的な対応)
- ◆服務事故防止の徹底
- ◆職務遂行と自分の生活に関するライフワーク・バランスの意識